



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月9日
上場取引所 東

上場会社名 三洋化成工業株式会社
 コード番号 4471 URL <https://www.sanyo-chemical.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 章憲
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員事務本部長 (氏名) 西村 健一 TEL 075-541-4312
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	134,183	11.0	6,656	△30.7	8,899	△21.8	6,284	△16.2
2022年3月期第3四半期	120,846	13.6	9,600	8.5	11,373	29.0	7,502	71.4

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 6,557百万円 (△17.3%) 2022年3月期第3四半期 7,929百万円 (△12.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	284.77	—
2022年3月期第3四半期	340.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	215,401	149,828	68.3	6,661.74
2022年3月期	200,194	147,032	72.2	6,549.60

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 147,053百万円 2022年3月期 144,479百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	85.00	—	85.00	170.00
2023年3月期	—	85.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	85.00	170.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	184,000	13.2	11,000	△7.3	13,500	5.7	9,000	34.3	407.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	23,534,752株	2022年3月期	23,534,752株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,460,365株	2022年3月期	1,475,417株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	22,067,412株	2022年3月期3Q	22,053,375株

(注) 取締役等を受益者とする信託が保有する当社の株式は期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11
3. 補足情報	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の制限が緩和され、個人消費や輸出に持ち直しの動きが見られましたが、サプライチェーンの混乱や原材料・部品の供給制約が続くなど依然として厳しい状況となりました。世界経済は、米欧は金融引き締めを通じた景気減速懸念があり、中国は行動制限による景気下振れからの回復に力強さを欠いている中、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による資源エネルギー価格の高止まり・物価上昇など、先行き不透明な状況にあります。

化学業界におきましては、為替相場は米欧の利上げなどによる急激な円安後、米欧の景気減速懸念や日銀の金融緩和策の修正などから一転して円高方向に推移し、原油価格は世界的な景気減速懸念と供給不安から価格上昇下落双方の思惑が交錯し方向感のない動きになるなど、事業環境は予断を許さない状況にあります。

このような環境下における当第3四半期連結累計期間の売上高は、原料価格上昇に伴う販売価格の改定などにより1,341億8千3百万円(前年同期比11.0%増)となりました。利益面では、販売量の減少、販売費および一般管理費の増加などにより営業利益は66億5千6百万円(前年同期比30.7%減)、経常利益は88億9千9百万円(前年同期比21.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は62億8千4百万円(前年同期比16.2%減)となりました。

① 全体の状況

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減		前連結会計年度
			(金額)	(伸び率)	
売上高	120,846	134,183	13,337	11.0%	162,526
営業利益	9,600	6,656	△2,943	△30.7%	11,868
経常利益	11,373	8,899	△2,474	△21.8%	12,771
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	7,502	6,284	△1,218	△16.2%	6,699
1株当たり四半期(当期)純利益	340.18円	284.77円	△55.41円	△16.3%	303.76円
ROA(総資産経常利益率)	7.6%	5.7%	—	△1.9ポイント	6.5%
ROE(自己資本当期純利益率)	7.0%	5.7%	—	△1.3ポイント	4.7%
為替(\$、元)	\$=¥111.14 元=¥17.26	\$=¥136.52 元=¥19.88		¥25.38 ¥2.62	\$=¥112.40 元=¥17.52
ナフサ価格	54,000円/k1	79,800円/k1		25,800円/k1	56,600円/k1

(注) 四半期のROA及びROEは、年換算しております。

② セグメント別の概況

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間		当第3四半期 連結累計期間		増減		前連結会計年度	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
生活・健康	41,125	1,547	44,544	347	3,418	△1,200	54,922	1,966
石油・輸送機	31,165	3,055	36,444	2,385	5,279	△670	42,540	3,759
プラスチック・繊維	19,478	3,040	21,493	2,277	2,014	△763	25,466	3,713
情報・電気電子	15,245	1,899	17,314	1,783	2,068	△116	20,989	2,511
環境・住設	13,830	1,250	14,388	1,004	557	△245	18,607	1,589

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントに帰属しない新規事業にかかる研究開発費の配賦方法の見直しをしております。前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度の営業利益は変更後の配賦方法で算出した数値です。詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」をご参照ください。

<生活・健康産業関連分野>

生活産業関連分野は、ポリエチレングリコールが中国・上海市でのロックダウンの影響により需要が減少したものの、ヘアケア製品用界面活性剤が売り上げを伸ばし、また製紙関連薬剤が堅調であったことにより、売上高は好調に推移しました。

健康産業関連分野は、高吸水性樹脂が主に中国市場で落ち込んだものの全拠点で原料価格高騰による価格改定を行い、売上高は微増となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は445億4千4百万円(前年同期比8.3%増)、営業利益は高吸水性樹脂の販売量の減少などにより3億4千7百万円(前年同期比77.5%減)となりました。

<石油・輸送機産業関連分野>

石油・輸送機産業関連分野は、自動車シートなどに使われるポリウレタンフォーム用原料、自動車内装表皮材用ウレタンビーズおよび潤滑油添加剤が自動車減産により需要が減少したものの、原料価格高騰による価格改定により売上高は大幅に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は364億4千4百万円(前年同期比16.9%増)、営業利益は23億8千5百万円(前年同期比21.9%減)となりました。

<プラスチック・繊維産業関連分野>

プラスチック産業関連分野は、主力の永久帯電防止剤が低調でしたが、塗料コーティング用薬剤・添加剤が海外向けに売り上げを伸ばし、好調に推移しました。

繊維産業関連分野は、炭素繊維用薬剤が順調に売り上げを伸ばし、また合成皮革・弾性繊維用ウレタン樹脂の販売も好調に推移し、売上高は大幅に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は214億9千3百万円(前年同期比10.3%増)、営業利益は22億7千7百万円(前年同期比25.1%減)となりました。

<情報・電気電子産業関連分野>

情報産業関連分野は、コロナ禍で落ち込んだオフィスでの印刷需要が回復し、重合トナー用ポリエステルビーズの原料、粉砕トナー用バインダーの販売がともに好調に推移したため、売上高は大幅に増加しました。

電気電子産業関連分野は、半導体市場の減速に伴い、汎用レジスト用材料の需要は減少しましたが、先端レジスト用材料の感光材が売り上げを伸ばし、またアルミ電解コンデンサ用電解液も大幅に売り上げが増加したため、売上高は好調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は173億1千4百万円(前年同期比13.6%増)、営業利益は17億8千3百万円(前年同期比6.1%減)となりました。

<環境・住設産業関連分野他>

環境産業関連分野は、海外向け高分子凝集剤用のカチオンモノマーが売り上げを伸ばし、売上高は大幅に増加しました。

住設産業関連分野は、家具・断熱材などに用いられるポリウレタンフォーム用原料の販売が巣ごもり需要の一巡により低調でしたが、建築シーラント用原料が原料価格高騰による価格改定により売上高は大幅に増加し、全体では横ばいとなりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は143億8千8百万円(前年同期比4.0%増)、営業利益は10億4百万円(前年同期比19.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は、前連結会計年度末に比べて152億7百万円増加し2,154億1百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べて27億9千5百万円増加し1,498億2千8百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末から3.9ポイント減少し68.3%となりました。

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末残高と比較し11億4百万円増加(前年同期は34億9千2百万円減少)し、当第3四半期連結会計期間末残高は192億7千6百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、100億5千1百万円(前年同期は105億9千2百万円の増加)となりました。これは、税金等調整前四半期純利益89億7千万円、減価償却費76億2千3百万円、仕入債務の増加93億9千1百万円などによる資金の増加が、法人税等の支払額37億6千4百万円、売上債権の増加56億3千1百万円、棚卸資産の増加65億8千3百万円などによる資金の減少を上回ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、90億6千8百万円(前年同期は91億5千9百万円の減少)となりました。これは、固定資産の取得に72億7千2百万円を支出したことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、2億4千5百万円(前年同期は53億5千5百万円の減少)となりました。これは配当金の支払額37億3千8百万円、長期借入金の返済による支出7億円、非支配株主への配当金の支払額2億2千5百万円などの資金の減少が、短期借入金の増加45億6千7百万円(純額)などの資金の増加を上回ったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、2022年11月10日に公表した業績予想を下回って推移しておりますが、為替・原油相場、ロシア・ウクライナ情勢の長期化など先行き不透明な状況にあり、当社の業績に与える影響を精査中であることから通期連結業績予想を据え置いております。業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

なお、2022年11月10日に公表した連結業績予想に対する当第3四半期累積業績の進捗率は、下表の通りです。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
連結業績予想 (進捗率(%))	184,000 (72.9)	11,000 (60.5)	13,500 (65.9)	9,000 (69.8)
前期実績(2022年3月期)	162,526	11,868	12,771	6,699

※業績予想は発表日時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,171	19,350
受取手形及び売掛金	44,849	51,073
電子記録債権	1,509	1,251
商品及び製品	16,561	22,019
半製品	4,314	4,969
仕掛品	596	86
原材料及び貯蔵品	6,115	7,328
その他	1,681	2,485
貸倒引当金	△35	△40
流動資産合計	93,764	108,522
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,066	19,270
機械装置及び運搬具（純額）	27,898	28,476
土地	8,853	8,861
建設仮勘定	3,635	1,087
その他（純額）	2,936	2,817
有形固定資産合計	61,389	60,514
無形固定資産		
ソフトウェア	1,283	1,157
その他	3,965	6,118
無形固定資産合計	5,248	7,276
投資その他の資産		
投資有価証券	29,274	28,352
長期貸付金	4,012	4,228
繰延税金資産	378	413
退職給付に係る資産	2,337	2,383
その他	3,819	3,742
貸倒引当金	△30	△32
投資その他の資産合計	39,791	39,088
固定資産合計	106,429	106,879
資産合計	200,194	215,401

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,575	27,041
電子記録債務	4,539	7,908
短期借入金	6,887	11,864
1年内返済予定の長期借入金	850	300
未払費用	4,247	4,326
未払法人税等	1,892	682
賞与引当金	2,117	1,302
役員賞与引当金	121	85
営業外電子記録債務	945	774
工場閉鎖損失引当金	12	—
その他	5,713	6,682
流動負債合計	47,904	60,967
固定負債		
長期借入金	150	—
繰延税金負債	3,350	3,021
株式報酬引当金	376	358
退職給付に係る負債	38	51
その他	1,341	1,173
固定負債合計	5,257	4,605
負債合計	53,161	65,573
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,051	13,051
資本剰余金	13,243	13,243
利益剰余金	109,713	112,362
自己株式	△5,781	△5,703
株主資本合計	130,226	132,954
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,623	9,425
為替換算調整勘定	4,093	4,138
退職給付に係る調整累計額	537	535
その他の包括利益累計額合計	14,253	14,099
非支配株主持分	2,552	2,774
純資産合計	147,032	149,828
負債純資産合計	200,194	215,401

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	120,846	134,183
売上原価	94,260	109,121
売上総利益	26,585	25,062
販売費及び一般管理費	16,985	18,405
営業利益	9,600	6,656
営業外収益		
受取利息	110	134
受取配当金	664	737
不動産賃貸料	98	100
為替差益	590	1,090
持分法による投資利益	413	476
その他	168	147
営業外収益合計	2,045	2,687
営業外費用		
支払利息	36	84
不動産賃貸原価	41	53
棚卸資産廃棄損	71	169
その他	122	137
営業外費用合計	272	445
経常利益	11,373	8,899
特別利益		
投資有価証券売却益	13	955
受取保険金	14	14
特別利益合計	28	969
特別損失		
固定資産除却損	621	770
投資有価証券評価損	—	106
その他	—	21
特別損失合計	621	898
税金等調整前四半期純利益	10,780	8,970
法人税等	2,915	2,266
四半期純利益	7,864	6,704
非支配株主に帰属する四半期純利益	362	420
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,502	6,284

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	7,864	6,704
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△959	△197
為替換算調整勘定	984	52
退職給付に係る調整額	40	△1
その他の包括利益合計	65	△146
四半期包括利益	7,929	6,557
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,591	6,111
非支配株主に係る四半期包括利益	337	446

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,780	8,970
減価償却費	7,185	7,623
固定資産除却損	621	770
賞与引当金の増減額(△は減少)	△942	△817
退職給付に係る資産負債の増減額	4	△43
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△9	△36
株式報酬引当金の増減額(△は減少)	106	63
受取利息及び受取配当金	△775	△872
支払利息	36	84
持分法による投資損益(△は益)	△413	△476
投資有価証券売却損益(△は益)	△13	△955
投資有価証券評価損益(△は益)	—	106
売上債権の増減額(△は増加)	△6,483	△5,631
棚卸資産の増減額(△は増加)	△5,434	△6,583
仕入債務の増減額(△は減少)	9,488	9,391
その他	△1,524	158
小計	12,627	11,752
利息及び配当金の受取額	784	2,151
利息の支払額	△36	△88
法人税等の支払額	△2,783	△3,764
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,592	10,051
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△6,720	△7,272
投資有価証券の取得による支出	△880	△118
投資有価証券の売却による収入	21	971
長期貸付けによる支出	△1,027	△608
長期貸付金の回収による収入	371	340
その他	△923	△2,380
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,159	△9,068
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△494	4,567
長期借入金の返済による支出	△700	△700
自己株式の純増減額(△は増加)	△3	△2
配当金の支払額	△3,628	△3,738
非支配株主への配当金の支払額	△419	△225
その他	△108	△146
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,355	△245
現金及び現金同等物に係る換算差額	430	32
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,492	770
現金及び現金同等物の期首残高	23,647	18,171
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	333
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,155	19,276

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	合計
	生活・健康 産業関連分 野	石油・輸送 機産業関連 分野	プラスチ ック・織 維産業関連 分野	情報・電 気電子産 業関連分 野	環境・住設 産業関連分 野他	計		
売上高								
外部顧客への売上高	41,125	31,165	19,478	15,245	13,830	120,846	—	120,846
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	51	51	△51	—
計	41,125	31,165	19,478	15,245	13,882	120,897	△51	120,846
セグメント利益	1,547	3,055	3,040	1,899	1,250	10,794	△1,194	9,600

(注1) セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,194百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない新規事業に係る研究開発費であります。

(注2) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	合計
	生活・健康 産業関連分 野	石油・輸送 機産業関連 分野	プラスチ ック・織 維産業関連 分野	情報・電 気電子産 業関連分 野	環境・住設 産業関連分 野他	計		
売上高								
外部顧客への売上高	44,544	36,444	21,493	17,314	14,388	134,183	—	134,183
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	97	97	△97	—
計	44,544	36,444	21,493	17,314	14,485	134,281	△97	134,183
セグメント利益	347	2,385	2,277	1,783	1,004	7,798	△1,141	6,656

(注1) セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,141百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない新規事業に係る研究開発費であります。

(注2) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(全社費用の配賦方法の見直し)

第1四半期連結会計期間より、従来、各報告セグメントに配分していた新規事業に係る研究開発費については、各報告セグメントの業績をより適切に把握するため、全社費用として区分しております。

これにより、従来の算定方法に比べて、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益が、生活・健康産業関連分野において252百万円、石油・輸送機産業関連分野において272百万円、プラスチック・繊維産業関連分野において273百万円、情報・電気電子産業関連分野において205百万円、環境・住設産業関連分野他において137百万円それぞれ増加し、セグメント利益の調整額が1,141百万円減少しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の配賦方法により作成したものを記載しております。

<参考>

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) (単位:百万円)

	日本	米国	中国	その他の地域	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	89,935	5,070	17,875	7,964	120,846	—	120,846
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,117	3	888	258	7,267	△7,267	—
計	96,052	5,074	18,764	8,222	128,113	△7,267	120,846
営業利益(又は営業損失)	9,385	162	587	△554	9,581	18	9,600

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) (単位:百万円)

	日本	米国	中国	その他の地域	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	97,082	7,114	17,710	12,276	134,183	—	134,183
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,137	45	1,270	961	9,415	△9,415	—
計	104,220	7,159	18,980	13,238	143,599	△9,415	134,183
営業利益(又は営業損失)	5,725	219	243	497	6,686	△29	6,656

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) (単位:百万円)

	アジア	(うち中国)	アメリカ	その他の地域	計
I 海外売上高	42,546	(25,931)	5,901	3,281	51,729
II 連結売上高	—	(—)	—	—	120,846
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	35.2	(21.5)	4.9	2.7	42.8

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) (単位:百万円)

	アジア	(うち中国)	アメリカ	その他の地域	計
I 海外売上高	45,546	(25,129)	8,310	4,542	58,398
II 連結売上高	—	(—)	—	—	134,183
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	33.9	(18.7)	6.2	3.4	43.5

- (注) 1. 海外売上高は、当社(単体)及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。
2. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。
3. 本邦以外の区分に属する主な国または地域
(1) アジア : 韓国、中国、インドネシア、インド、タイ 他
(2) アメリカ : 米国、メキシコ、ブラジル 他
(3) その他の地域 : オーストラリア、ヨーロッパ、ロシア、中東 他

3. 補足情報

四半期ごとの連結業績推移

前連結会計年度

(単位：百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計 2022年3月期
	(2021年4月～6月)	(2021年7月～9月)	(2021年10月～12月)	(2022年1月～3月)	
売上高	38,057	39,461	43,327	41,680	162,526
営業利益	3,091	2,826	3,681	2,268	11,868
経常利益	3,581	3,280	4,511	1,398	12,771
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	2,193	2,224	3,083	△802	6,699
四半期包括利益又は 包括利益	1,837	2,402	3,689	152	8,082

当連結会計年度

(単位：百万円)

	第1四半期 (2022年4月～6月)	第2四半期 (2022年7月～9月)	第3四半期 (2022年10月～12月)	伸び率 (%)	
				前年同期(3Q)比	前四半期(2Q)比
売上高	44,336	44,103	45,744	5.6	3.7
営業利益	1,956	1,976	2,724	△26.0	37.9
経常利益	4,259	3,108	1,531	△66.1	△50.7
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	2,536	2,182	1,564	△49.3	△28.3
四半期包括利益又は 包括利益	3,986	2,341	230	△93.7	△90.1